

一般職業紹介状況(平成24年2月分)

有効求人倍率(季節調整値)は、前月より0.04ポイント低下の0.72倍で、5か月ぶりに前月を下回った。

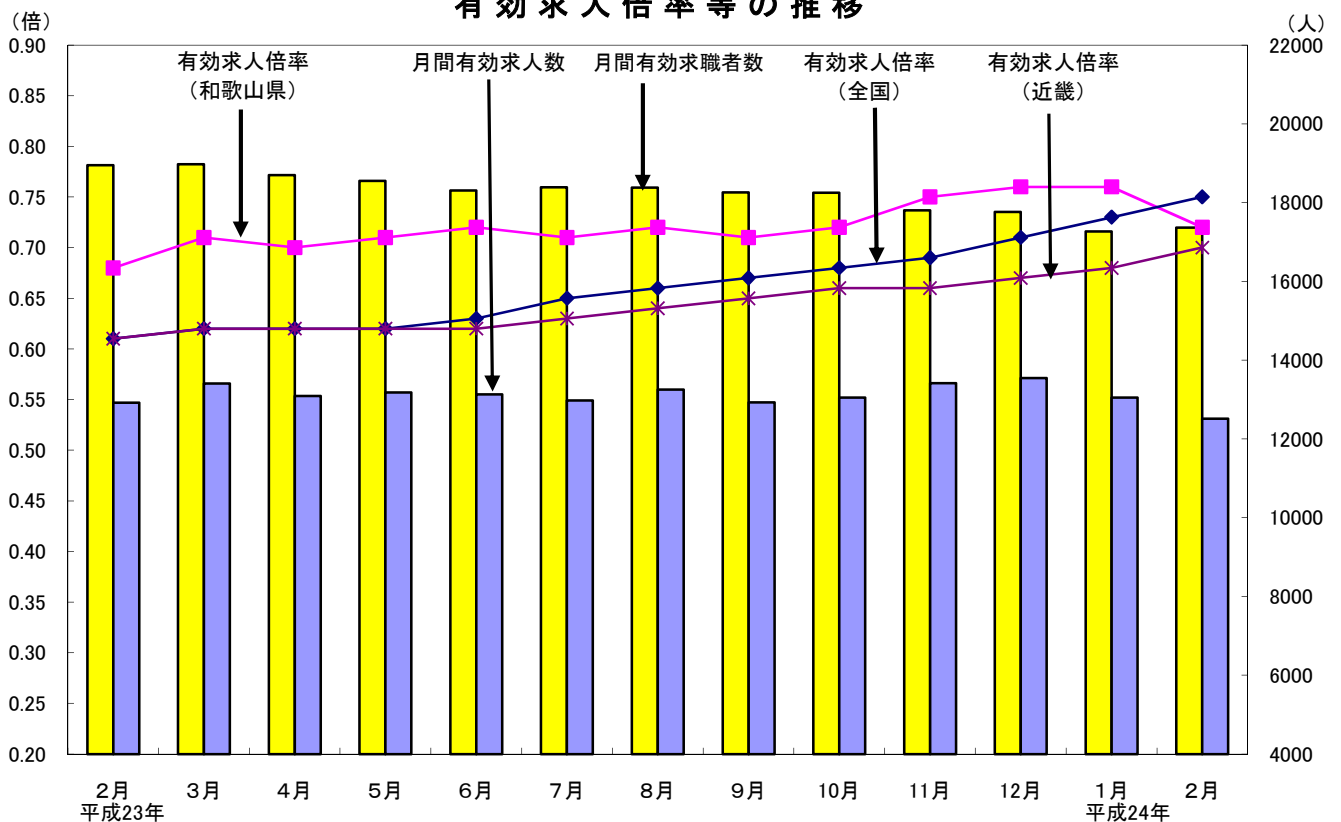
全国の有効求人倍率(季節調整値)は0.75倍で、前月より0.02ポイント上昇。

近畿の有効求人倍率(季節調整値)は0.70倍で、前月より0.02ポイント上昇。

新規求人倍率(季節調整値)は1.13倍で、前月より0.16ポイント低下。

- ◎ 新規求人数(原数値)は対前年同月比0.2%減。
- ◎ 新規求職者数(原数値)は対前年同月比4.5%減。

有効求人倍率等の推移



(注) 有効求人倍率、月間有効求人数及び月間有効求職者数はすべて季節調整値。
季節調整値の平成23年12月以前の数値は新季節指数により改訂済。
有効求人倍率(折れ線グラフ)は左目盛。月間有効求人数及び月間有効求職者数(棒グラフ)は右目盛。

1 求人倍率の動き

新規求人倍率(季節調整値)は前月より0.16ポイント低下の1.13倍で、2か月ぶりに前月を下回った。

有効求人倍率(季節調整値)は0.72倍となり、前月を0.04ポイント下回った。

正社員有効求人倍率(原数値)は前年同月より0.06ポイント上昇の0.45倍で、20か月連続で前年同月を上回った。

2 求人の動き

- (1) 新規求人数(原数値)は5,690人で、前年同月比0.2%減(2か月ぶり減)となった。
有効求人数(原数値)は13,234人で、前年同月比1.7%減(22か月ぶり減)となった。
- (2) 主な産業別に新規求人の増減(前年同月差)をみると、
「教育,学習支援業」(102人増)、「公務・その他」(50人増)、「宿泊業,飲食サービス業」(48人増)、「建設業」(40人増)などで増加し、「製造業」(101人減)、「医療,福祉」(65人減)、「サービス業」(59人減)、「情報通信業」(50人減)、「生活関連サービス業,娯楽業」(30人減)などは減少した。
- (3) 一般、パート別で新規求人の状況を見ると、一般求人数は3,200人で前年同月比7.4%減、パート求人数は2,490人で前年同月比11.0%増となった。

3 求職者の動き

- (1) 新規求職者数(原数値)は4,504人で、前年同月比4.5%減(6か月連続減)となった。
有効求職者数(原数値)は16,499人で、前年同月比8.1%減(11か月連続減)となった。
- (2) 新規求職者(パートを含む常用)を態様別にみると、在職者は1,111人で前年同月比0.7%増(6か月ぶり増)、離職者は2,538人で同2.9%減(13か月連続減)となり、離職者のうち事業主都合離職は603人で同2.9%増(6か月ぶり増)、自己都合離職は1,750人で同2.9%減(11か月連続減)、また、無業者は805人で同15.3%減(3か月連続減)となった。
- (3) 雇用保険の受給者実人員は4,051人で、前年同月比3.8%減(2か月連続減)となった。

4 就職者数の動き

安定所の紹介による就職者数は1,550人で、前年同月比0.3%減(3か月連続減)となった。

5 まとめ

求職者数は新規、有効とも前年に比べ連続して減少しているが、求人の動向をみると、新規は2か月ぶり、有効は22か月ぶりと減少幅は小さいが、ともに減少となっていることから、雇用情勢は持ち直しの動きが弱まっており、依然として厳しい状況にある。今後の求人の動向に注意が必要である。